

<プロフィール>

高山千代美/ソプラノ

1960年宮崎市生まれ。筑波大学情報学類在学中より声楽を学ぶ。数学科教諭・第一勧銀システム開発を経て、1991年よりコンサート活動や合唱指導を開始。2001年9.11事件をきっかけに溢れる平和への思いがメロディーとなり、作詞・作曲を始める現在は音楽を通して安らぎや喜びを分かち合いたいとコンサート活動を行っている。オリジナルCD「母を想う時」「21世紀の子どもたちへ」「虹の輪」「Jatsering～永遠の命～」「スマイル・スマイル」「父娘」「いのちの子守唄」「風よ空よ」「いっチャが音頭」「神々の物語～大祓詞より～」を発表、世界89ヶ国で配信。MRTテレビ&ラジオ、サンシャインFM、FM立川、ラジオ成田などにゲスト出演。

高橋基之/テノール

フレーベル少年合唱団で磯部徹氏よりコーラスの手ほどきをうける。筑波大学混声合唱団を創立、初代団長及び学生指揮者。卒業後は、声楽を山本健二氏、移川澄也氏に師事。フォーレ作曲のレクイエムのワークショップ・演奏会をはじめとする様々な合唱指導、合唱指揮を行うとともに、宗教音楽、ベートーヴェン交響曲第九番等のソロリストを多数務める。平成4年、平成23、27年にソロリサイタルをひらき好評を博す。また、NHK全国音楽コンクールをはじめ、合唱コンクール、合唱祭の審査員・講師を多数行っている。現在、日本合唱指揮者協会会員、全日本音楽教育研究会高等学校部会顧問、東京都高等学校音楽教育研究会参与。

大森陸リチャード/ヴィオラ

東邦音楽大学卒業。ヴィオラを大久保淑人、佐々木亮、今井信子、市坪俊彦、大野かおる、安藤裕子、G.マルシュナー、W.シュトレーレの各氏に師事。室内楽を大久保淑人、宮野陽子、須田祥子の各氏に師事。2017年に日本サウジアラビア「ビジョン2030」音楽交流事業<サウジアラビア公園>に最年少として参加。2019年に東邦音楽大学管弦楽団と「ホフマイスターヴィオラ協奏曲」を共演。2023年8月にサントリーホールで行われた今井信子スペシャル～傘寿記念演奏会～に参加。第27回日本クラシック音楽コンクール全国大会入賞。フィリアホール室内楽アカデミア第3期生。

フレーベル少年合唱団OB合唱団

フレーベル少年合唱団OB会は、1959年に結成された。フレーベル少年合唱団に在籍した者からなるもので、母体である少年合唱団発展への寄与と会員相互の、親睦を目的として活動しています。OB有志+α（団員の父親等）による男声合唱団も40年以上前に結成され、少年合唱団定期演奏会の賛助出演や慰問演奏などの活動を行っています。



佐々木美歌/ソプラノ

東京藝術大学音楽部卒業。大学の推薦を受け電通育英会奨学金を得て、同大学大学院修士課程および博士後期課程を修了。英米歌曲、特にアメリカ芸術歌曲を中心にディクションの研究を行う。現在、筑波大学附属視覚特別支援学校音楽科専任教諭。学部卒業時にアカンサス賞ならびに同声会賞を受賞。第24回奏楽堂日本歌曲コンクール入選。2016年～2019年、長野羊奈子賞、毛利準賞受賞。2016年、社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業主催「第66回奏楽メサイア」ソプラノソロリスト。2018年、三菱地所賞を受賞。現在、演奏活動とともに、オペラ団体や個人に向け、クラシック・ミュージカル問わず、アメリカ作品のディクション指導も行っている。

前田涼生/テノール

フレーベル少年合唱団で初めて本格的に音楽に接する。東京経済大学在学中に声楽を学び始める。卒業後はキヤノン株式会社に勤務。会社勤務の傍ら市民オペラ団体に所属し、「魔笛」「ドン・ジョヴァンニ」「コシ・ファン・トゥッテ」「愛の妙薬」等のオペラで主役級を演じる一方、プロのオペラ公演にも参加して様々なわき役を演じた。10年ほど前からカンツォーネ歌手としての活動を開始し現在月に数回都内各所のシャンソンソニ等でもプロ歌手として歌っている。2022年2月にキヤノン株式会社を退職し、音楽一本での生活を始めている。声楽を小野沢徳一氏、ビーノ松谷氏に師事。長江杯国際音楽コンクール声楽部門入賞、太陽カンツォーネコンクール入賞

井上伸一/チェロ

東邦音楽大学大学院修了。第8回日本管弦打楽器ソロコンテスト高校性弦楽器部門金賞受賞。現在、東邦音楽大オーケストラ研究員。これまでにチェロを阿形有佳、藤森亮一、倉田澄子、富永佐恵子、香月圭佑の各氏に、室内楽を大久保淑人、白井英治の各氏に師事。

下地直子/ピアノ

沖縄県出身。琉球大学教育学部音楽科卒業。管楽器、声楽などの伴奏の他、子ども、及び大人のための音楽指導を行っている。現在、フレーベルOB合唱団合唱団フォーレを歌う会等、伴奏者として活躍。PTNA会員、アンサンブルガプリエルメンバー。

宮野陽子/ヴァイオリン

東京藝術大学附属音楽高等学校、東京藝術大学音楽学部卒業。在学中、安宅賞を受賞。芸大オーケストラと共演。1988年、ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団の第1ヴァイオリン奏者として渡欧。オランダ在住中、オランダ・アルクマール音楽祭に参加。室内オーケストラ、室内楽などの活動も行う。1996年帰国。後進の指導のかたわら、ソロ、室内楽、オーケストラやアンサンブルのコンサートミストレスとして演奏活動を行っている。病院、地域でのボランティア演奏にも積極的に取り組んでいる。東邦音楽大学主催のソロコンテストをはじめ、コンクール、オーディションなどの審査員を務める。現在、東邦音楽大学・短期大学教授。

神田宇士/バリトン

国立楽大学作曲科卒業。二期会オペラ研修所54期修了。声楽を益田道昭、押見朋子各氏に師事。都立高校で教鞭を執る傍ら、様々なオペラに出演。柔かく豊かな発声と作曲科出身ならではのソルフェージュ能力を武器に《フィガロの結婚》フィガロ・伯爵、《リゴレット》タイトルロール、《ボエーム》マルチェロ、《椿姫》ジェルモン、《蝶々夫人》シャープレスなど幅広い役柄をこなす。その他第九ソリスト、レストランでのディナーコンサート出演など多方面で活躍している。都立総合芸術高校教諭二期会会員。東京シティオペラ協会会員。茂原 de OPERA企画代表。ブログ「歌うクマ日記」(<http://singingbear.blog102.fc2.com/>)

川添音々/ピアノ

埼玉県川口市立元郷南小学校4年。第26回ショパン国際ピアノコンクールinASIA小学5・6年生部門（飛び級）全国大会及びアジア大会金賞。同コンクール第23回大会金賞・第24回大会金賞・ソリスト賞。第10回東京国際ピアノコンクール小学生低学年の部第1位。東京国際芸術協会主催ウィーン公演に出演。第26回日本演奏家コンクール小学低学年の部第1位副賞多数。オルペテッロ国際ピアノコンクールカテゴリーA第1位(イタリア)。7月に小山実稚恵氏と連弾でサントリー大ホールデビュー。8月には東フィルとモーツァルトのピアノ協奏曲を共演。これまでに藤原新治に師事。

松尾素子/ヴァイオリン

4歳よりバイオリンを始める。筑波大学応用理工学類卒業。筑波大学では筑波大学管弦楽団に所属。大学卒業後、メーカー勤務の傍ら、バイオリンで桐朋学園カレッジディプロマコースを修了。これまでにバイオリンを宮野陽子、田中晶子の各氏に師事。現在Sonoritemusiqueバイオリン講師。室内楽などの演奏活動を行っている。

大徳隆子/バレエ

3歳よりクラシックバレエを始め、翌年より岸千恵子氏に師事。1997年モスクワポリショイバレエ学校留学。帰国後、日本バレエ演ミュージカル他多数公演に出演。公演活動の傍ら各地で後輩の指導にあたる。2013年Studio.D開設。地元子どもたちに気軽にバレエに触れていただけるよう活動中。日本バレエ協会会員。

藤原新治/ピアノ

日本と中国の音楽的ルーツを受け継ぎ、3歳よりピアノを始める。東邦音楽大学付属高等学校を卒業後、ハンガリー政府の国費留学生としてリスト音楽院に留学し、最優秀の成績で卒業。イタリア・イスキア国際ピアノコンクール優勝をはじめ、数々の国際コンクールで輝かしい成績を収める。バルトーク旧邸宅でのサロンコンサートには毎年招かれ、その演奏は現地メディアでも大きく報道される。日本、ハンガリー、中国を舞台に多彩な演奏活動を展開し、2024年には中国での三公演で「黄河」ピアノ協奏曲を演奏し絶賛を浴びた。TV・WebCM 音楽の演奏や国内主要音楽機関での指導・審査も担い、演奏家としてのみならず教育者としても高い評価を得ている。川口市芸術奨励賞受賞。東邦音楽大学ピアノ科非常勤講師 LisztMusicSchool 主宰。



アンサンブル・パウロウニア

茗溪創基 150 周年の記念祝賀に向けて結成された合唱団。

Studio.D /バレエ

2013年開設。大徳隆子氏主宰クラシックバレエスタジオ。茗溪会の協力のもと2015年より茗溪会館内に開設。骨髄バンクチャリティーコンサートなどに参加。2023年10周年を迎え9月に第2回発表会を開催。

